

80TH
ANNIVERSARY

SPECIAL LECTURE

”背伸びしない 日常に価値がある”

～地域資源の本来価値と可視化～

地域が主体となり、文化や資源を活かして持続可能な観光を実現する
「コミュニティツーリズム」のヒントがここにあります

日時 令和8年6月8日（月） 15:40～16:30

会場 グランディエールブuketーカイ 4階 シンフォニー
（静岡市葵区紺屋町 17-1、JR静岡駅北口から徒歩すぐ）

対象 静岡県観光協会会員（優先）、観光・交通事業者、茶業関係者ほか



講師

小原 嘉元 氏

株式会社和多屋別荘代表取締役
静岡県地域資源活用アドバイザー

【プロフィール】

1977年嬉野市生まれ。
佐賀県嬉野温泉の旅館「和多屋別荘」の代表取締役。
2000年（平成12年）大学を中退し、株式会社和多屋別荘へ入社するも家業の不振により、退職、旅館再生コンサルタントの道へ。約10年に渡り全国の温泉旅館70軒もの再生に携わる。
2013年代表に就任後、これまでに培った発想力と人脈を生かし、経営危機を乗り越える。
また、旅館経営以外にも、2014年に「箱庭の芸術祭」、2016年に「嬉野茶時（ティーツーリズム）」、「宵の美術館」を立ち上げ、温泉地・嬉野に新風を呼び込む事業をプロデュース。2018年には有田にオーベルジュ「aritahuis」を開業し、2020年には国内初の旅館内へのサテライトオフィスを誘致し、2021年11月にはReborn Wataya Projectの一環としてうれしの茶と読書を愉しむための書店「BOOKS&TEA三服」や「ピエール・エルメ・パリ」を開業。2022年3月には、「温泉インキュベーションセンター(OIC)」を新設。
2025年4月に旅館内に外国人日本語学校を開学、2026年4月、薬局「薬泊堂」を開局。
1,300年の嬉野温泉、500年のうれしの茶、400年の肥前吉田焼の3つの地域固有文化を地域OSと捉え、地域OSから生み出される本来価値をツーリズム、食、旅館を通して次代へ繋いでいる。